

# EB-710UT EB-700U





# ◯ 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本書をお読みください。本書の内 容に反した取り扱いは故障や事故の原因となります。本書は、製品の不明点をいつでも解決できる ように、手元に置いてお使いください。

プロジェクターの『取扱説明書』と『安全にお使いいただくために』をご確認いただき、取り扱いの 注意事項をお守りください。

#### 安全に関する表示

取扱説明書および本製品には、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や 財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

表示	意味
▲ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想 定される内容を示しています。
1 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内 容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 記号の意味

記号	意味
$\bigcirc$	行為を禁止する記号
0	行為を指示する記号
	関連する情報や知っておくと便利な情報

### 設置上のご注意

▲ 警告	
セッティングプレートはプロジェクターの壁掛け設置専用品です。プロジェクター以 外のものを取り付けるとその重さによっては破損することがあります。	0
本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
壁への取り付け(壁掛け設置)工事は、特別な技術が必要です。正しく工事が行われな いと、落下によりけがや事故の原因となります。	0
本製品は、本書の記載に沿って設置してください。	
記載事項を守らないと、本製品が落下し、けがや事故の原因となります。	V

▲ 警告	
電源コードの取り扱いには注意してください。	
取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってく ださい。	U
<ul> <li>濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。</li> <li>破損や加工した電源コードを使用しない。</li> <li>電源コードをセッティングプレートに通すときは、強い力で引っ張らない。</li> </ul>	
振動や衝撃が伝わる不安定な場所には設置しないでください。	$\bigcirc$
本製品や設置面が破損するおそれがあります。また、本製品が落下して人が死亡または重 傷を負うおそれがあります。	0
壁に取り付ける際は、プロジェクターとセッティングプレートの質量および横揺れに も十分耐えられるようにプレートを取り付けてください。ナット・ボルト等はM10を 使用してください。	0
M10より小さいと落下事故の原因となります。取り付けの強度不足等による落下事故につ きましては、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。	
本製品は必ず二人以上の専門業者で設置してください。設置中にネジ類を緩めるとき は、本製品が落下しないように取り扱ってください。	0
本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
本製品を壁に取り付けるときは、プロジェクターとセッティングプレートを支えるために壁には十分な強度が必要です。	0
本製品はコンクリートの壁に取り付けてください。プロジェクターとセッティングプレートの最大総重量は、約20kgです(ケーブル類含まず)。本製品を壁に設置する前に、壁の 強度を確保してください。強度不足のときは、十分に補強してから設置してください。	
定期的に、破損箇所やネジ類の緩みがないか点検してください。	$\bigcirc$
破損箇所があるときはすぐに使用を中止してください。本製品が落下して、人が死亡また は重傷を負うおそれがあります。	0
本製品の分解・改造は絶対にしないでください。	$\bigcirc$
内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。	$\bigcirc$
本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。	$\bigcirc$
本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	0
壁掛け設置やセッティングプレートの調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・ 潤滑剤・油などを使用しないでください。	$\bigcirc$
プロジェクターのスライドプレート固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが 付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。	
調整後はすべてのネジを完全に締め直してください。	
十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。	U
設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。	$\bigcirc$
また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、 確実に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。	G
ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。	
ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。	U

▲ 警告	
プロジェクターの電源を入れるときは、絶対に投写窓をのぞかないでください。	$\bigcirc$
強い光で目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してく ださい。離れた場所からリモコンを使ってプロジェクターの電源を入れるときは、投写窓 をのぞいている人がいないことを確認してから電源を入れてください。	<u> </u>
プロジェクターを使用するときは、プロジェクターの投写窓にものを置いたり、手を近 づけたりしないでください。	$\bigcirc$
投写光が集束するため高温になり危険です。	
プロジェクターの吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐ と内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。	$\bigcirc$
暖房器具の付近など高温になる場所は避け、壁と排気口の間を50cm以上空けてください。	
可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しない でください。	$\bigcirc$
プロジェクター内部が高温になっているため、引火による火災の原因となります。	
本製品に異常が発生したときは、すぐに本製品に接続しているケーブルを抜いて、お買 い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。	0
そのまま使用を続けると、火災・感電・視力障害の原因となります。	
本機の内部および外部にはレーザー警告ラベルが貼られています。	$\bigcirc$
内部	-
CAUTION / DANGER: CLASS 41 ASER RADIATION WHEN OPEN AVOID. EVE OF SKIN EXPOSURE TO DIRECT DR SCATTERED RADIATION ATTENTON / DANGER: CLASS 41 ASER RADIATION WHEN OPEN AVOID. EVE OF SKIN EXPOSURE TO DIRECT DR SCATTERED RADIATION ATTENTON / DANGER: CLASS 41 ASER RADIATION WHEN OPEN AVOID. EVE OF SKIN EXPOSURE TO DIRECT DR SCATTERED RADIATION ATTENTON / DANGER: CLASS 41 ASER RADIATION WHEN OPEN AVOID. EVE OF SKIN EXPOSICION DE CLASS 4 EVERTILE VERVOSITION DE EVERVOSITION DE VERVOSITION DE VERVOSIT	
外部	
投写中は、投写窓から放射されるレーザービームをのぞかないでください。(JIS C 6802:2014に準拠)	
<ul> <li> <u> </u></li></ul>	
本機のケースを開けないでください。	$\bigcirc$
内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。	<u> </u>
本機の光源を直接見ないでください。	$\bigcirc$
強い光が視力障害などの原因となります。	$\sim$

注意	
ご使用になるプロジェクター機種の使用温度範囲を超える場所には設置しないでくだ さい。	$\bigcirc$
故障の原因となります。	
レンズや内部の光学部品に汚れが付着しないように、ホコリや湿気の少ないところに 設置してください。	0
本製品を調整するときは無理な力を加えないでください。	$\bigcirc$
本製品が壊れてけがの原因となることがあります。	$\bigcirc$
本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。	0
本機を廃棄する場合は分解しないでください。	$\bigcirc$
国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。	$\mathbf{O}$

# タッチユニットに関するご注意 (EB-710UTのみ)

▲ 警告	
タッチユニットの分解・改造は絶対にしないでください。	$\bigcirc$
タッチユニットの内部には高出力のレーザー製品が組み込まれており、火災・感電・事故 の原因となります。	0
タッチユニットをEB-710UT以外のプロジェクターや他の機器に接続しないでくださ い。	$\bigcirc$
機器の故障や制限以上のレーザー光が放出される可能性があります。	
心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、タッチユニットに近づかない でください。また、タッチユニットを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の 医療機器を装着している方がいないことを確認してください。	•
マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。	
注意	
磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密 電子機器をタッチユニットに近づけないでください。	$\bigcirc$
マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。	
タッチユニットを廃棄する場合は分解しないでください。	$\bigcirc$
国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。	0

# 本書について

本書では、オプションのセッティングプレートELPMB53を使って、超短焦点プロジェクター EB-710UT/EB-700U を壁掛け設置するための手順を説明しています。

また、壁掛け設置後にタッチユニットを設置するための手順を説明しています(EB-710UTのみ)。



#### プロジェクターの設置場所

- セッティングプレートを設置する場所に、あらかじめ電源工事を済ませておいてください。
- プロジェクターを設置する場所は、蛍光灯・エアコンなど他の電気製品から離してください。蛍光灯の 種類によっては、プロジェクターを操作するリモコンが誤動作することがあります。
- プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの左右にある排気口や吸気口を壁などから約50cm
   以上離してください。



2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、35℃以下の環境に設置してください。
 高温の環境で使用すると、プロジェクターが高温になり突然電源が切れることがあります。35℃以上の環境で使用するときは、排気口から出た熱を遮るための仕切りを取り付けます。仕切りは、排気口よりも一回り(縦横それぞれ約2cm)大きくし、排気口から約30cmの位置に取り付けます。



- 外部ノイズの影響を少なくするために、パソコン等と接続するケーブルは20m以下になるようにプロジェクターを配置することをお勧めします。
- 貼付型スクリーン、またはボード型スクリーンの使用をお勧めします。
- プロジェクターの傾きが、スクリーンに対してタテ・ヨコ±3°以内になるように設置してください。
- インタラクティブ機能(Easy Interactive Function)を使用するときは、手の届く範囲に投写され るように設置してください。
- 太陽光が直接当たる場所には、プロジェクターやスクリーンを設置しないでください。太陽光がプロジェクターやスクリーンに直接当たると、インタラクティブ機能が正しく動作しないことがあります。

# タッチユニットの設置場所 (EB-710UTのみ)

- タッチユニットを使用するときは、次のいずれかの方法でプロジェクターを設置してください。他の方法で設置すると、タッチユニットは使用できません。
  - 壁掛けまたは天吊りして、スクリーンの正面から投写する。
  - 机上に縦置き設置して、机の正面から投写する。(縦置き設置するときは、オプション品のテーブル 投写金具(ELPMB29)が必要です。)
- タッチユニットを設置する前に、設置面にそりやゆがみがなく平らで、スクリーン表面の凹凸が5mm 以下であることを確認してください。



タッチユニットをホワイトボード内に取り付けるときは、タッチユニットをマグネットまたはネジで固定します。



タッチユニットをホワイトボードの外に取り付けるときは、同梱のタッチユニット取り付け金具が必要です。



- 壁からスクリーン表面までの長さ(f)が50mmを超える場合は、タッチユニットをホワイトボードの外に取り付けることはできません。
- スクリーンの周りに枠がある場合は、上枠の厚み(e)が3mm以内であることを確認してください。
   上枠の厚みが3mmを超えると、タッチユニットが正しく動作しません。



<u>安全にお使いいただくために</u>	
安全上のご注意	. 1
安全に関する表示	1
記号の意味	1
設置上のご注意	1
タッチユニットに関するご注意	
(EB-710UTのみ)	4
本書について	4
設置場所について	. 5
プロジェクターの設置場所	5
タッチユニットの設置場所(EB-710UTの	-
д)	6
設置工事説明書	
	10
	10
	ΙU
20以上のフロシェンシーを並べて改直9る	. 11
同梱品一覧	12
ヤッティングプレート	. 12
タッチユニット(EB-710UTのみ)	. 13
タッチユニット取り付け金具	. 13
仕様一覧	14
セッティングプレート	. 14
ウォールプレートカバー	. 14
ウォールプレート	15
上下スライドの調整範囲	15
水平スライドの調整範囲	16
前後スライドの調整範囲	. 16
	. 16
タッナユニット (EB-/1001のみ)	18
タッチュニット(外形す法/真里) ・・・・・	10
調整範囲/質量)	18
添付のラベルについて	19
レーザー照射口	20
投写距離表	21
取り付け寸法図	21
タッチユニットを取り付ける場合 (EB-710UTのみ)	. 22

85型未満の画面を投写する場合	. 25
16:10 投写画面	. 26
16:9 投写画面(EB-700Uのみ)	~ 7
	. 27
4.3 技子回国(EB-70000のの)	. 20 20
03空以上の回回で 次子9 る 場口	. 29 20
16.10 扱う画面 16.9 投写画面 (FB-7001のみ)	. 30
	. 33
4:3 投写画面(EB-700Uのみ)	. 36
セッティングプレートの取り付け	
	38
機器との接続	. 38
必要なケーブル	. 38
取り付け手順	. 40
各部を組み立てる	. 40
ウォールプレートを壁に取り付ける	. 42
投写距離を決めてセッティングプレート にケーブル類を通す	. 44
セッティングプレートをウォールプレー トに取り付ける	. 46
セッティングプレートにプロジェクター を固定する	. 49
プロジェクターの位置調整	. 51
赤外線ディフレクターの貼付	
(EB-710UTのみ)	. 58
湾田禰止	. 60
ベン位置合わせ(EB-/1001のみ)	. 61
カバー類の取り付け	. 65
タッチユニットの取り付け	~~
(EB-/1001007)	68
ホワイトボードの外に取り付ける場合(タ ッチュニット取り付け全目を使う)	68
取り付け手順	. 00 68
鱼度調整	. 74
指タッチ位置合わせ	. 90
ホワイトボード内に取り付ける場合(タッ	
チユニット取り付け金具を使わない)	. 93
取り付け手順	. 93
角度調整	. 97

# <u>付録</u>

本機を複数台並べて設置する(マルチ	
プロジェクション)	101
マルチプロジェクション設定	101
プロジェクターID の設定	101
マルチプロジェクションの映像調整	104
本機を2台並べてインタラクティブ機能を使	
う(EB-710UTのみ)	105
プロジェクターの同期設定を行う	105
マルチプロジェクションのインタラクテ ィブ設定	107
一括設定機能	114
USBメモリーを使って設定する	115
設定値をUSBメモリーに保存する	115
保存した設定値を他のプロジェクターに 反映する	117
コンピューターとプロジェクターをUSBケ	
ーブルで接続して設定する	118
設定値をコンピューターに保存する	118
保存した設定値を他のプロジェクターに 反映する	120
設定がうまくいかないときは	121
セキュリティーケーブルの取り付け	
	122
商標について	123

# 🖸 設置の流れ

## 1台のプロジェクターを設置する

プロジェクターを壁掛け設置するときは、以下の手順で行います。

2 プロジェクターの位置調整 (☞ p.51)

3 インタラクティブペンの位置合わせ(EB-710UTのみ)( c p.61)

タッチユニットを設置するときは、プロジェクターの設置がすべて終わってから以下の手順で行います。(EB-710UTのみ)

タッチユニットを取り付ける位置によって、手順が異なります。

ホワイトボードの外に取り付ける場合(タッチユニット取り付け金具を使う)



タッチユニットの取り付け (
 ・ p.68)

2 レーザー照射の角度調整 ( p.74)

3 指タッチ位置合わせ (● p.90)

ホワイトボード内に取り付ける場合(タッチユニット取り付け金具を使わない)



- タッチユニットの取り付け(☞ p.93)
- 2 レーザー照射の角度調整 (● p.97)
- 3 指タッチ位置合わせ (● p.90)

# 2台以上のプロジェクターを並べて設置する

マルチプロジェクション機能を使う(複数台のプロジェクターを並べて1つの大きな画面を投写する)ときは、以下の手順で行います。

- 1 セッティングプレートとプロジェクターの取り付け(● p.38)
- 2 プロジェクターの位置調整(☞ p.51)
- 3 プロジェクターIDの設定(● p.101)
- ④ マルチプロジェクションの映像調整(● p.104)

本機を2台並べてインタラクティブ機能を使うときは、続けて以下の設定を行います(EB-710UTのみ)。設定は1台ずつ行います。

- プロジェクター同期設定(● p.105)
- 2 マルチプロジェクションのインタラクティブ設定(一 p.107)

# 🖸 同梱品一覧

## セッティングプレート

プロジェクターを壁掛け設置するには、オプションのセッティングプレートELPMB53が必要です。 以下の同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。



エンドキャップ

目隠しシール

六角レンチ (M4 用)

両ロスパナ 呼び13 (M8、M6 用)、 呼び6 (六角軸用)

形状	名称	員数	用途
<b>S</b>	M4 x 12mm 六角穴付きボルト ワ	5本	ウォールプレート組立用
	ッシャー/スプリングワッシャーあり	4本	3軸調整ユニット/アーム取り付け用
		4本	スライドプレート/プロジェクター本体取 り付け用
O <sub>O</sub>	M6 x 20mm 六角段付きボルト ワ ッシャー/ スプリングワッシャーあり	1本	セッティングプレート/ウォールプレート 取り付け用
Or B	M6 x 20mm 十字穴付き段付きネジ プラスチックワッシャーあり	3本	

• 金具の取り付けは、必ず本製品に同梱のボルトまたはネジを使用してください。

- ウォールプレートを壁に取り付ける際は、市販のM10 x 60mmアンカーボルト(4本以上)とM10 ネジ(1本)を使用してください。
- 工具は必要に応じてご用意ください。

# タッチユニット (EB-710UTのみ)

タッチユニットを取り付けるときは、以下の同梱品が必要です。すべて揃っていることをご確認く ださい。タッチユニット取り付け金具は、タッチユニットをホワイトボードの外に取り付けるとき に使います。



ホワイトボード内にタッチユニットを取り付ける場合にマグネットを使えないときは、市販のM4ネ ジ(3本)をご用意ください。

タッチユニット取り付け金具



取り付けプレート用に、市販の直径4mm木ネジ(3本)またはM4のアンカーボルト(3本)をご用 意ください。

# ○ 仕様一覧

# セッティングプレート

項目	仕様	備考	参照ページ
セッティングプレート質量	約7.9kg	セッティングプレート、3軸調整ユニ ット、スライドプレート、ウォールプ レート、ウォールプレートカバー・エ ンドキャップ	
最大荷重	13.0kg		
前後スライド調整範囲	0~320mm	3軸調整ユニットの取り付け位置によ る調整: 87mm	下図参照
上下スライド調整範囲	±38mm		下図参照
水平ロール調整範囲	±3°	調整ダイヤルによる微調整が可能	<b>e</b> p.51
水平回転調整範囲	±8°	調整ダイヤルによる微調整が可能	<b>☞</b> p.51
上下チルト調整範囲	±3°	調整ダイヤルによる微調整が可能	<b>☞</b> p.51
水平スライド調整範囲	±45mm		下図参照

### | ウォールプレートカバー

ウォールプレートカバー装着時の寸法は以下の通りです。

[単位:mm]



ウォールプレートカバーを取り付けるときは、ウォールプレートの中心から左に約263mm、右に 約253mmのスペースが必要です。

## 📕 ウォールプレート

下図はフレーム2本とプレートを1つにつなぎ合わせた状態です(出荷時は別々です)。

[単位:mm]



※ 投写する画面の中心位置とウォールプレートの中心位置のオフセット値は27mmです。

#### ケーブル配線穴

プロジェクターに接続するケーブルを壁の中に通すときは、下図の(A)と(B)の位置をケーブル配線穴として使用できます。



## ■ 上下スライドの調整範囲

[単位:mm]



## 水平スライドの調整範囲

[単位:mm]



## 前後スライドの調整範囲

#### アームスライド調整範囲

[単位:mm]



#### 3軸調整ユニットの取り付け位置による調整範囲

[単位:mm]



# アクセサリー取り付け部

外付けチューナーなどの周辺機器やアクセサリーを固定するためのネジ穴です。市販のM4ネジをお 使いください。

[単位 : mm]



# タッチユニット(EB-710UTのみ)

# │ タッチユニット (外形寸法/質量)

[単位:mm]



タッチユニットの質量は約450gです。

## ■ タッチユニット取り付け金具(外形寸法/調整範囲/質量)

上面

[単位:mm]



正面

[単位 : mm]



#### 取り付けプレート(正面)

[単位:mm]



タッチユニット取り付け時(側面)

[単位:mm]



タッチユニット取り付け金具の質量は約750gです。

### |添付のラベルについて

タッチユニットは、 JIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。

タッチユニットには、クラス1レーザー製品であることと、警告を示すラベルが貼られています。





ラベルの内容は次のとおりです。

- クラス1レーザ製品
- 警告:ケースを開けないでください。内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 警告:
  - 注意:ここを開くとクラス3Bの不可視レーザー放射が出る
  - ビームの被ばくを避けること

#### ■ レーザー照射口

レーザー光は、タッチユニットの背面にあるレーザー照射口から照射されます。



- 光源出力:最大 285 mW × 2
- 波長: 932 960 nm

○ 投写距離表

#### 取り付け寸法図

下図を参考にして、映像が最適な大きさでスクリーンに映るように設置してください。値は目安です。 投写する距離(a)の推奨範囲は、62~432mmです。

投写する画面の中心位置とウォールプレートの中心位置のオフセット値は27mmです。

ウォールプレート中央にあるケーブル配線穴の下端は、投写する画面上端からウォールプレート取り付けネジ穴(下)までの距離(c)+28.3mmになります。

[単位:mm]



標準投写画面の縦横比



## タッチユニットを取り付ける場合(EB-710UTのみ)

同梱のタッチユニット取り付け金具を使用すると、タッチユニットをホワイトボードの外に取り付けることができます。

ホワイトボードの外にタッチユニットを取り付けるときは、タッチユニットを取り付ける面からホ ワイトボード表面までの長さ(下図(f))を計測します。



- •(f)が20mm~50mmの場合は、取り付け金具を使ってタッチユニットを取り付けられます。
- (f) が20mm以下または51mm以上の場合は、ホワイトボード内にタッチユニットを取り付けてくだ さい。
- 上枠の厚み(e)が3mm以上の場合は、ホワイトボード内にタッチユニットを取り付けてください。

# <u> 注</u>意

投写する画面上端からタッチユニットの下端までを25mm~100mmにしてください。

投写画面とタッチユニットの間にケーブル類などの障害物や、ホワイトボードのトレイ、ホルダーな どの突起物があると、タッチユニットが正しく動作しません。 ホワイトボードの外に取り付ける場合(タッチユニット取り付け金具を使う)

[単位:mm]



スクリーンの下部にフレームやトレイなどの突起物があると、指タッチ操作が正しく反応しないことがあります。突起物の位置に合わせて同梱の赤外線ディフレクターを貼ってください(● p.58)。赤外線ディフレクターを貼るには、投写する画面の下部と突起物との間に約20mmのスペースが必要です。

#### ホワイトボード内に取り付ける場合(タッチユニット取り付け金具を使わない)

投写する画面上端からスクリーンの上端までは120mm以上の間隔が必要です。

[単位:mm]



- スクリーンの下部にフレームやトレイなどの突起物があると、指タッチ操作が正しく反応しないことがあります。突起物の位置に合わせて同梱の赤外線ディフレクターを貼ってください(● p.58)。赤外線ディフレクターを貼るには、投写する画面の下部と突起物との間に約20mmのスペースが必要です。
  - 下図の斜線部分にケーブル類などの障害物や、ホワイトボードのトレイ、ホルダー、厚みのあるフレームなどの突起物あると、指タッチ操作が正しく反応しないことがあります。



85型未満の画面を投写する場合

3軸調整ユニットを、○の箇所(A)に取り付けてください。 投写距離表は、3軸調整ユニットを○の箇所(A)に取り付けた場合の数値です。



投写する画面上端からウォールプレート取り付けネジ穴(下)までの距離(c)は、上下スライドを 基準位置(B)に合わせた場合の数値です。

セッティングプレートの切り欠きとウォールプレートの刻印の位置を合わせます。



# 16:10 投写画面

[単位:cm]

S		а	b	С	d	h
投写する画面サイズ		投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプ レート取り 付けネジ穴 (下) までの 距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
70型	150.8x94.2	5.6~20.9	16.5~31.8	23.7	42.9	94.3
71型	152.9x95.6	6.2~21.8	17.1~32.7	24.0	43.2	95.6
72型	155.1x96.9	6.8~22.6	17.7~33.5	24.3	43.5	96.9
73型	157.2x98.3	7.4~23.5	18.3~34.4	24.6	43.8	98.2
74型	159.4x99.6	8.1~24.3	19.0~35.2	24.8	44.0	99.7
75型	161.5x101.0	8.7~25.2	19.6~36.1	25.1	44.3	101.0
76型	163.7x102.3	9.3~26.0	20.2~36.9	25.4	44.6	102.3
77型	165.9x103.7	10.0~26.9	20.9~37.8	25.7	44.9	103.6
78型	168.0x105.0	10.6~27.7	21.5~38.6	26.0	45.2	105.0
79型	170.2x106.3	11.2~28.6	22.1~39.5	26.2	45.4	106.4
80型	172.3x107.7	11.8~29.4	22.7~40.3	26.5	45.7	107.7
81型	174.5x109.0	12.5~30.3	23.4~41.2	26.8	46.0	109.0
82型	176.6x110.4	13.1~31.1	24.0~42.0	27.1	46.3	110.4
83型	178.8x111.7	13.7~32.0	24.6~42.9	27.4	46.6	111.7
84型	180.9x113.1	14.3~32.8	25.2~43.7	27.6	46.8	113.1

70型より小さい画面は正しく投写されません。

 ・値は目安です。設直9 る場内のネロになり、
 ・テレで投写すると、画質が劣化することがあります。 • 値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。

# 16:9 投写画面(EB-700Uのみ)

[単位:cm]

S		а	b	С	d	h
投写する画面サイズ		投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプ レート取り 付けネジ穴 (下) までの 距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
70型	155.0x87.2	6.8~22.6	17.7~33.5	29.1	48.3	87.2
71型	157.2x88.4	7.4~23.5	18.3~34.4	29.5	48.7	88.4
72型	159.4x89.7	8.1~24.3	19.0~35.2	29.8	49.0	89.7
73型	161.6x90.9	8.7~25.2	19.6~36.1	30.2	49.4	90.9
74型	163.8x92.1	9.4~26.1	20.3~37.0	30.5	49.7	92.2
75型	166.0x93.4	10.0~26.9	20.9~37.8	30.9	50.1	93.4
76型	168.2x94.6	10.6~27.8	21.5~38.7	31.3	50.5	94.6
77型	170.5x95.9	11.3~28.7	22.2~39.6	31.6	50.8	95.9
78型	172.7x97.1	11.9~29.6	22.8~40.5	32.0	51.2	97.1
79型	174.9x98.4	12.6~30.4	23.5~41.3	32.3	51.5	98.4
80型	177.1x99.6	13.2~31.3	24.1~42.2	32.7	51.9	99.6
81型	179.3x100.9	13.9~32.2	24.8~43.1	33.0	52.2	100.9
82型	181.5x102.1	14.5~33.0	25.4~43.9	33.4	52.6	102.1
83型	183.7x103.4	15.2~33.9	26.1~44.8	33.8	53.0	103.3
84型	186.0x104.6	15.8~34.8	26.7~45.7	34.1	53.3	104.6

70型より小さい画面は正しく投写されません。

 ・値は目安です。設直9 る場内のネロになり、
 ・テレで投写すると、画質が劣化することがあります。 • 値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。

# 📕 4:3 投写画面 (EB-700Uのみ)

[単位:cm]

S		а	b	С	d	h
投写する画面サイズ		投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプ レート取り 付けネジ穴 (下) までの 距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
70型	142.2x106.7	11.4~28.8	22.3~39.7	26.3	45.5	106.7
71型	144.3x108.2	12.1~29.7	23.0~40.6	26.6	45.8	108.2
72型	146.3x109.7	12.8~30.7	23.7~41.6	27.0	46.2	109.7
73型	148.3x111.3	13.5~31.7	24.4~42.6	27.3	46.5	111.2
74型	150.4x112.8	14.2~32.6	25.1~43.5	27.6	46.8	112.8
75型	152.4x114.3	14.9~33.6	25.8~44.5	27.9	47.1	114.3
76型	154.4x115.8	15.6~34.5	26.5~45.4	28.2	47.4	115.8
77型	156.5x117.3	16.3~35.5	27.2~46.4	28.5	47.7	117.4
78型	158.5x118.9	17.0~36.5	27.9~47.4	28.9	48.1	118.8
79型	160.5x120.4	17.8~37.4	28.7~48.3	29.2	48.4	120.4
80型	162.6x121.9	18.5~38.0	29.4~48.9	29.5	48.7	121.9
81型	164.6x123.4	19.2~38.0	30.1~48.9	29.8	49.0	123.5
82型	166.6x125.0	19.9~38.0	30.8~48.9	30.1	49.3	125.0
83型	168.7x126.5	20.6~38.0	31.5~48.9	30.4	49.6	126.5
84型	170.7x128.0	21.3~38.0	32.2~48.9	30.8	50.0	128.0

70型より小さい画面は正しく投写されません。

• 値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。 ・値は目安です。設直する場所の本目になった。
 ・テレで投写すると、画質が劣化することがあります。

# 85型以上の画面を投写する場合

3軸調整ユニットを、○○の箇所(▲)に取り付けてください。

投写距離表は、3軸調整ユニットを〇〇の箇所(A)に取り付けた場合の数値です。



投写する画面上端からウォールプレート取り付けネジ穴(下)までの距離(c)は、上下スライドを 基準位置(B)に合わせた場合の数値です。

セッティングプレートの切り欠きとウォールプレートの刻印の位置を合わせます。



# ■ 16:10 投写画面

[単位 : cm]

S		а	b	С	d	h
投写	する画面サイズ	投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプレ ート取り付け ネジ穴(下) までの距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
85型	183.1x114.4	15.0~ 33.7	17.2~ 35.9	27.9	47.1	114.5
86型	185.2x115.8	15.6~ 34.5	17.8~ 36.7	28.2	47.4	115.8
87型	187.4x117.1	16.2~ 35.3	18.4~ 37.5	28.5	47.7	117.1
88型	189.5x118.5	16.9~ 36.2	19.1~ 38.4	28.8	48.0	118.4
89型	191.7x119.8	17.5~ 37.0	19.7~ 39.2	29.1	48.3	119.8
90型	193.9x121.2	18.1~ 37.9	20.3~ 40.1	29.3	48.5	121.2
91型	196.0x122.5	18.7~ 38.7	20.9~ 40.9	29.6	48.8	122.5
92型	198.2x123.9	19.4~ 39.6	21.6~ 41.8	29.9	49.1	123.8
93型	200.3x125.2	20.0~ 40.4	22.2~ 42.6	30.2	49.4	125.2
94型	202.5x126.5	20.6~ 41.3	22.8~ 43.5	30.5	49.7	126.5
95型	204.6x127.9	21.3~ 42.1	23.5~ 44.3	30.7	49.9	127.9
96型	206.8x129.2	21.9~ 43.0	24.1~ 45.2	31.0	50.2	129.2
97型	208.9x130.6	22.5~ 43.2	24.7~ 45.4	31.3	50.5	130.6
98型	211.1x131.9	23.1~ 43.2	25.3~ 45.4	31.6	50.8	131.9
99型	213.2x133.3	23.8~ 43.2	26.0~ 45.4	31.9	51.1	133.2
100型	215.4x134.6	24.4~ 43.2	26.6~ 45.4	32.1	51.3	134.7
101型 ※	217.5x136.0	25.0~ 43.2	27.2~ 45.4	32.4	51.6	136.0

#### 設置工事説明書

	S	а	b	С	d	h
投写する画面サイズ		投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプレ ート取り付け ネジ穴(下) までの距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
102型 ※	219.7x137.3	25.6~ 43.2	27.8~ 45.4	32.7	51.9	137.3
103型 ※	221.9x138.7	26.3~ 43.2	28.5~ 45.4	33.0	52.2	138.6
104型 ※	224.0x140.0	26.9~ 43.2	29.1~ 45.4	33.3	52.5	140.0
105型 ※	226.2x141.4	27.5~ 43.2	29.7~ 45.4	33.5	52.7	141.4
106型 ※	228.3x142.7	28.2~ 43.2	30.4~ 45.4	33.8	53.0	142.7
107型 ※	230.5x144.0	28.8~ 43.2	31.0~ 45.4	34.1	53.3	144.0
108型 ※	232.6x145.4	29.4~ 43.2	31.6~ 45.4	34.4	53.6	145.4
109型 ※	234.8x146.7	30.0~ 43.2	32.2~ 45.4	34.7	53.9	146.7
110型 ※	236.9x148.1	30.7~ 43.2	32.9~ 45.4	34.9	54.1	148.1
111型 ※	239.1x149.4	31.3~ 43.2	33.5~ 45.4	35.2	54.4	149.4
112型 ※	241.2x150.8	31.9~ 43.2	34.1~ 45.4	35.5	54.7	150.8
113型 ※	243.4x152.1	32.6~ 43.2	34.8~ 45.4	35.8	55.0	152.1
114型 ※	245.5x153.5	33.2~ 43.2	35.4~ 45.4	36.1	55.3	153.4
115型 ※	247.7x154.8	33.8~ 43.2	36.0~ 45.4	36.3	55.5	154.9
116型 ※	249.9x156.2	34.4~ 43.2	36.6~ 45.4	36.6	55.8	156.2
117型 ※	252.0x157.5	35.1~ 43.2	37.3~ 45.4	36.9	56.1	157.5
118型 ※	254.2x158.9	35.7~ 43.2	37.9~ 45.4	37.2	56.4	158.8
119型 ※	256.3x160.2	36.3~ 43.2	38.5~ 45.4	37.5	56.7	160.2
120型 ※	258.5x161.5	37.0~ 43.2	39.2~ 45.4	37.7	56.9	161.6

#### 設置工事説明書

	S	а	b	С	d	h
投写する画面サイズ		投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプレ ート取り付け ネジ穴(下) までの距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
121型 ※	260.6x162.9	37.6~ 43.2	39.8~ 45.4	38.0	57.2	162.9
122型 ※	262.8x164.2	38.2~ 43.2	40.4~ 45.4	38.3	57.5	164.2
123型 ※	264.9x165.6	38.8~ 43.2	41.0~ 45.4	38.6	57.8	165.6
124型 ※	267.1x166.9	39.5~ 43.2	41.7~ 45.4	38.9	58.1	166.9
125型 ※	269.2x168.3	40.1~ 43.2	42.3~ 45.4	39.1	58.3	168.3
126型 ※	271.4x169.6	40.7~ 43.2	42.9~ 45.4	39.4	58.6	169.6
127型 ※	273.5x171.0	41.3~ 43.2	43.5~ 45.4	39.7	58.9	171.0
128型 ※	275.7x172.3	42.0~ 43.2	44.2~ 45.4	40.0	59.2	172.3
129型 ※	277.9x173.7	42.6~ 43.2	44.8~ 45.4	40.3	59.5	173.6
130型 ※	280.0x175.0	43.2	45.4	40.5	59.7	175.1

※100型より大きい画面はインタラクティブ機能が正しく動作しません(EB-710UTのみ)。 130型より大きい画面は正しく投写されません。

値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。
 テレで投写すると、画質が劣化することがあります。

# ■ 16:9 投写画面(EB-700Uのみ)

[単位 : cm]

S		а	b	С	d	h
投写	する画面サイズ	投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプレ ート取り付け ネジ穴(下) までの距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
85型	188.2x105.8	16.5~ 35.7	18.7~ 37.9	34.5	53.7	105.8
86型	190.4x107.1	17.1~ 36.5	19.3~ 38.7	34.8	54.0	107.1
87型	192.6x108.3	17.7~ 37.4	19.9~ 39.6	35.2	54.4	108.3
88型	194.8x109.6	18.4~ 38.3	20.6~ 40.5	35.5	54.7	109.6
89型	197.0x110.8	19.0~ 39.1	21.2~ 41.3	35.9	55.1	110.8
90型	199.2x112.1	19.7~ 40.0	21.9~ 42.2	36.3	55.5	112.0
91型	201.5x113.3	20.3~ 40.9	22.5~ 43.1	36.6	55.8	113.3
92型	203.7x114.6	21.0~ 41.8	23.2~ 44.0	37.0	56.2	114.5
93型	205.9x115.8	21.6~ 42.6	23.8~ 44.8	37.3	56.5	115.8
94型	208.1x117.1	22.3~ 43.2	24.5~ 45.4	37.7	56.9	117.0
95型	210.3x118.3	22.9~ 43.2	25.1~ 45.4	38.0	57.2	118.3
96型	212.5x119.5	23.6~ 43.2	25.8~ 45.4	38.4	57.6	119.5
97型	214.7x120.8	24.2~ 43.2	26.4~ 45.4	38.8	58.0	120.8
98型	217.0x122.0	24.8~ 43.2	27.0~ 45.4	39.1	58.3	122.1
99型	219.2x123.3	25.5~ 43.2	27.7~ 45.4	39.5	58.7	123.3
100型	221.4x124.5	26.1~ 43.2	28.3~ 45.4	39.8	59.0	124.6
101型	223.6x125.8	26.8~ 43.2	29.0~ 45.4	40.2	59.4	125.8

#### 設置工事説明書

	S	а	b	С	d	h
投写する画面サイズ		投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプレ ート取り付け ネジ穴(下) までの距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
102型	225.8x127.0	27.4~ 43.2	29.6~ 45.4	40.5	59.7	127.1
103型	228.0x128.3	28.1~ 43.2	30.3~ 45.4	40.9	60.1	128.3
104型	230.2x129.5	28.7~ 43.2	30.9~ 45.4	41.3	60.5	129.5
105型	232.4x130.8	29.4~ 43.2	31.6~ 45.4	41.6	60.8	130.8
106型	234.7x132.0	30.0~ 43.2	32.2~ 45.4	42.0	61.2	132.0
107型	236.9x133.2	30.7~ 43.2	32.9~ 45.4	42.3	61.5	133.3
108型	239.1x134.5	31.3~ 43.2	33.5~ 45.4	42.7	61.9	134.5
109型	241.3x135.7	31.9~ 43.2	34.1~ 45.4	43.1	62.3	135.7
110型	243.5x137.0	32.6~ 43.2	34.8~ 45.4	43.4	62.6	137.0
111型	245.7x138.2	33.2~ 43.2	35.4~ 45.4	43.8	63.0	138.2
112型	247.9x139.5	33.9~ 43.2	36.1~ 45.4	44.1	63.3	139.5
113型	250.2x140.7	34.5~ 43.2	36.7~ 45.4	44.5	63.7	140.7
114型	252.4x142.0	35.2~ 43.2	37.4~ 45.4	44.8	64.0	142.0
115型	254.6x143.2	35.8~ 43.2	38.0~ 45.4	45.2	64.4	143.2
116型	256.8x144.5	36.5~ 43.2	38.7~ 45.4	45.6	64.8	144.4
117型	259.0x145.7	37.1~ 43.2	39.3~ 45.4	45.9	65.1	145.7
118型	261.2x146.9	37.8~ 43.2	40.0~ 45.4	46.3	65.5	146.9
119型	263.4x148.2	38.4~ 43.2	40.6~ 45.4	46.6	65.8	148.2
120型	265.7x149.4	39.0~ 43.2	41.2~ 45.4	47.0	66.2	149.4

	S	а	b	С	d	h
投写する画面サイズ		投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプレ ート取り付け ネジ穴(下) までの距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
121型	267.9x150.7	39.7~ 43.2	41.9~ 45.4	47.3	66.5	150.7
122型	270.1x151.9	40.3~ 43.2	42.5~ 45.4	47.7	66.9	151.9
123型	272.3x153.2	41.0~ 43.2	43.2~ 45.4	48.1	67.3	153.1
124型	274.5x154.4	41.6~ 43.2	43.8~ 45.4	48.4	67.6	154.4
125型	276.7x155.7	42.3~ 43.2	44.5~ 45.4	48.8	68.0	155.7
126型	278.9x156.9	42.9~ 43.2	45.1~ 45.4	49.1	68.3	156.9

126型より大きい画面は正しく投写されません。

● 値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。
 ● テレで投写すると、画質が劣化することがあります。
# ■ 4:3 投写画面(EB-700Uのみ)

[単位 : cm]

S		а	b	С	d	h
投写する画面サイズ		投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプレ ート取り付け ネジ穴(下) までの距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
85型	172.7x129.5	22.0~ 43.2	24.2~ 45.4	31.1	50.3	129.5
86型	174.8x131.1	22.7~ 43.2	24.9~ 45.4	31.4	50.6	131.1
87型	176.8x132.6	23.4~ 43.2	25.6~ 45.4	31.7	50.9	132.6
88型	178.8x134.1	24.2~ 43.2	26.4~ 45.4	32.0	51.2	134.1
89型	180.8x135.6	24.9~ 43.2	27.1~ 45.4	32.3	51.5	135.7
90型	182.9x137.2	25.6~ 43.2	27.8~ 45.4	32.7	51.9	137.1
91型	184.9x138.7	26.3~ 43.2	28.5~ 45.4	33.0	52.2	138.7
92型	186.9x140.2	27.0~ 43.2	29.2~ 45.4	33.3	52.5	140.2
93型	189.0x141.7	27.7~ 43.2	29.9~ 45.4	33.6	52.8	141.7
94型	191.0x143.3	28.4~ 43.2	30.6~ 45.4	33.9	53.1	143.3
95型	193.0x144.8	29.1~ 43.2	31.3~ 45.4	34.3	53.5	144.7
96型	195.1x146.3	29.8~ 43.2	32.0~ 45.4	34.6	53.8	146.3
97型	197.1x147.8	30.6~ 43.2	32.8~ 45.4	34.9	54.1	147.8
98型	199.1x149.4	31.3~ 43.2	33.5~ 45.4	35.2	54.4	149.4
99型	201.2x150.9	32.0~ 43.2	34.2~ 45.4	35.5	54.7	150.9
100型	203.2x152.4	32.7~ 43.2	34.9~ 45.4	35.8	55.0	152.4
101型	205.2x153.9	33.4~ 43.2	35.6~ 45.4	36.2	55.4	153.9

#### 設置工事説明書

S		а	b	С	d	h
投写する画面サイズ		投写距離 最短(ワイ ド)〜最長 (テレ)	アームスライ ドの目盛りの 数値	ウォールプレ ート取り付け ネジ穴(下) までの距離	投写する画面 上端からウォ ールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	投写する画面 の高さ
102型	207.3x155.4	34.1~ 43.2	36.3~ 45.4	36.5	55.7	155.4
103型	209.3x157.0	34.8~ 43.2	37.0~ 45.4	36.8	56.0	157.0
104型	211.3x158.5	35.5~ 43.2	37.7~ 45.4	37.1	56.3	158.5
105型	213.4x160.0	36.2~ 43.2	38.4~ 45.4	37.4	56.6	160.0
106型	215.4x161.5	37.0~ 43.2	39.2~ 45.4	37.7	56.9	161.6
107型	217.4x163.1	37.7~ 43.2	39.9~ 45.4	38.1	57.3	163.0
108型	219.5x164.6	38.4~ 43.2	40.6~ 45.4	38.4	57.6	164.6
109型	221.5x166.1	39.1~ 43.2	41.3~ 45.4	38.7	57.9	166.1
110型	223.5x167.6	39.8~ 43.2	42.0~ 45.4	39.0	58.2	167.7
111型	225.6x169.2	40.5~ 43.2	42.7~ 45.4	39.3	58.5	169.2
112型	227.6x170.7	41.2~ 43.2	43.4~ 45.4	39.7	58.9	170.6
113型	229.6x172.2	41.9~ 43.2	44.1~ 45.4	40.0	59.2	172.2
114型	231.6x173.7	42.6~ 43.2	44.8~ 45.4	40.3	59.5	173.7

114型より大きい画面は正しく投写されません。

● 値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。
 ● テレで投写すると、画質が劣化することがあります。

# 🖸 セッティングプレートの取り付け

## 機器との接続

## 必要なケーブル

同梱の電源コードを必ずご用意ください。



その他、使用する機器に応じて必要なケーブルを用意します。

- 同梱のUSB接続ケーブル(EB-710UTのみ)
- 同梱のコンピューターケーブル(EB-700Uのみ)
- 同梱のタッチユニット接続ケーブル(EB-710UTのみ)
- その他のケーブル(接続する機器に応じて用意する)

詳細は、プロジェクターの『取扱説明書』(Document CD-ROM内)をご覧ください。

#### Easy Interactive Functionを使うときに必要なケーブル(EB-710UTのみ)

Easy Interactive Functionを使ってマウス操作をするときは、USBケーブルが必要です。コンピューターケーブルを使って投写する場合も、マウス操作をするときはUSBケーブルが必要です。



#### 本機を2台並べてEasy Interactive Function を使うときに必要なケーブル(EB-710UTのみ)

本機を2 台並べてインタラクティブ機能を使用するときは、オプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)が必要です。



1台のコンピューターを2台のプロジェクターに接続してインタラクティブ機能を使用するときは、 コンピューターから2台のプロジェクターそれぞれにUSBケーブルを接続してください。コンピュ ーターにはUSB-A端子が2つ必要です。

#### タッチユニットを取り付けるときに必要なケーブル(EB-710UTのみ)

タッチユニットを取り付けてプロジェクターと接続するときは、同梱のタッチユニット接続ケーブ ルが必要です。市販のケーブルで接続すると、正しく動作しません。

プロジェクターに接続する端子とタッチユニットに接続する端子はそれぞれ形状が異なります。下 図を参考に、正しい端子を接続してください。



## 取り付け手順

セッティングプレートは、必ず以下の手順に沿って設置してください。手順どおりに設置しないと 製品が落下し、大変危険です。



壁掛け設置やセッティングプレートの調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターのスライドプレート固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤 滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。

## 各部を組み立てる

1 プレートとフレーム(2枚)をつなぎ合わせ、同梱のM4 x 12mmボルト(5本)で 固定する



2 3 軸調整ユニットとスライドプレートの基準位置(A)が合っているか確認する。



基準位置(A)が合っていないときは、M4ボルトを緩めてからスライドプレートの位置を調整します。調整が終わったら、ボルトを締め直します。



同梱のM4 x 12mmボルト (4本) で、3軸調整ユニットとスライドプレートをプロジェクターの底面に固定する





ボルトを取り付ける位置

## ▌ ウォールプレートを壁に取り付ける

#### 投写する画面サイズと、投写する位置を決める

投写距離表で以下の数値を確認してください。

- 投写する画面サイズ (S)
- 投写する画面上端からウォールプレート取り付けネジ穴(下)までの距離(c)
- 投写する画面上端からウォールプレート仮止め用ネジ穴までの距離(d)



下図のネジ穴は、ウォールプレートの仮止め用ネジ穴として使います。ウォールプレート 取り付けネジ穴(下)から仮止め用ネジ穴までの距離は192.3mmです。

以下の位置に印をつけることをお勧めします。ウォールプレートの取り付け位置を決める基準にな ります。

- 仮止め用ネジ穴の位置( ①)
- ウォールプレート取り付けネジ穴(下)の位置( ② )
- 投写する画面の中心線(③)



4

# 2 テンプレートシートを壁に貼る

- ・手順1で確認した中心線(③)とテンプレートシートのImage Center Bのラインを合わせます。 壁の中のハリの状況を確認し、必要に応じて左右位置をずらします。 (水平方向の許容シフト位置は投写する画面の中心線から左右最大45mmまで)
- ・ 手順1で確認した高さ(①)と(②)に、テンプレートシートの★のラインをそれぞれ合わせます。

[単位:mm]



ウォールプレートの仮止め用ネジ穴の位置に市販のM10ネジを打つ

壁とネジ頭部の間を6mm以上空けてください。

ウォールプレートの取り付け穴をあける位置を決める

下図のネジ穴の中から、バランスがとれる4箇所以上を固定してください。



1

5 ドリルで壁に穴をあける ドリル径:10.5mm 下穴深さ:45mm 埋込深さ:40mm



6 テンプレートシートを取り外し、ダストポンプなどで穴の中のコンクリート粉を取り除く



壁にウォールプレートを配置して、市販のM10×60mmアンカーボルトを穴に入れる

ナットを付けて、芯棒がアンカーボル ト本体の頂部に接するまでハンマーな どでたたきます。



8 市販のスパナでナットを締めて、ウォールプレートを壁に固定する



### 投写距離を決めてセッティングプレートにケーブル類を通す

- 投写距離表で以下の数値を確認する
  - アームスライドの目盛りの数値(b)
  - スクリーン表面から壁までの距離(x)
  - ☞「投写距離表」 p.21

## 2 M4 x 12mmボルト(2本)を緩めてから、セッティングプレートのアームスライ ドを引き出す

手順1で確認した(b)と(x)の合計距離をスライダーの目盛りに合わせます。



必要なケーブル類をセッティングプレート内に通す

下図を参考にして、プロジェクターに接続するケーブルの端子がプロジェクターのインターフェース側に出るように通してください。



▲ 警告

余ったケーブルをセッティングプレートの上に乗せないでください。落下事故の原因となります。

タッチユニット接続ケーブルもセッティングプレート内に通します(EB-710UTのみ)。 タッチユニットに接続する端子が、セッティングプレートの下方へ出るように通してください。

# ▶ セッティングプレートをウォールプレートに取り付ける

## 六角軸をセッティングプレートに差し込む







4

### セッティングプレートとウォールプレートを固定する

同梱のM6ネジ(3本)を市販のNo.3のプラスドライバーで固定してから、同梱のM6ボルト(1本)をスパナで軽く締めます。



上下スライドを両口スパナで調整して、基準位置(〇)に合わせる

- ・上部の六角軸(▲)を締めるとセッティングプレートが上がり、緩めると下がります。
- 下部のM8ボルト(B)を締めるとセッティングプレートが下がり、緩めると上がります。 (17mmのソケットレンチも使用できます。)



5 M6ボルト(1本)を締めて、セッティングプレートの位置を固定する



## ■ セッティングプレートにプロジェクターを固定する

ネジ(2本)を緩め、プロジェクターからケーブルカバーを取り外す



- 同梱のM4 x 12mmボルト(4本)で、3軸調整ユニットをセッティングプレート
   に取り付ける
  - 85型未満の画面を投写する場合:○の箇所(А))に取り付けます。
  - 85型以上の画面を投写する場合:○○の箇所(圖)に取り付けます。





☞「機器との接続」 p.38

電源コードは最後に接続してください。

外付けチューナーなどの周辺機器やアクセサリーは、下図のネジ穴に市販のM4ネジで固定します。



オプション品の無線LANユニットは、無線LANユニット装着部に取り付けます。



## プロジェクターの位置調整

- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、10分以上たってから映像の 調整を行ってください。
- プロジェクターの台形補正機能では調整しないでください。画質が悪くなる可能性があります。
- 本機を2台以上設置する場合に、一括設定機能を使って設定を行うときは、投写画面を調整する前に行ってください。
  - ☞「一括設定機能」 p.114



リモコンまたは操作パネルの【電源】ボタンを押して、プロジェクターの電源を入れる



<u> 注</u>意

投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近く に置いたりしないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となりま す。



ピントの微調整は後で行います。

調整が終了したら、エアフィルターカバーを閉じます。

- [拡張設定] メニューの [言語] からメニューの表示言語を切り替えられます。
  - 🖝 プロジェクターの『取扱説明書』 プロジェクターメニュー
  - 初めてプロジェクターの電源をオンにしたときは、「時刻を設定しますか?」というメッセージが表示されます。後で時刻を設定するときは、「いいえ」を選択してください。

#### 投写画面のアスペクト比を切り替える(必要な場合のみ)

接続機器からの映像を投写して、リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。 押すたびに画面上にアスペクト名が表示され、アスペクト比が切り替わります。



3



・ 接続機器からの映像が投写されていないときはアスペクト比は切り替えられません。
 ・ [映像] メニューの [アスペクト] からもアスペクト比を切り替えられます。

☞ プロジェクターの『取扱説明書』 - プロジェクターメニュー



5 [設定] から [設置ガイド] を選択する

ガイド画面が表示されます。



下側の調整ダイヤルを緩めてから、上側の調整ダイヤルで水平ロールを調整する





調整が終了したら、下側の調整ダイヤルを締め直します。



下側の調整ダイヤルを緩めてから、上側の調整ダイヤルで上下チルトを調整する



調整が終了したら、下側の調整ダイヤルを締め直します。





調整が終了したら、緩めたM4ボルトを締め直します。

両ロスパナでM6ボルト(1本)を緩めてから、上下スライドを調整する

六角軸の上部または下部で、上下スライド調整をします。

- 上部の六角軸を締めるとセッティングプレートが上がり、緩めると下がります。
- 下部のM8ボルトを締めるとセッティングプレートが下がり、緩めると上がります。(17mmの ソケットレンチも使用できます。)



調整が終了したら、緩めたM6ボルトを締め直します。

### 手順6から手順11で緩めたボルトやネジがすべて締まっていることを確認する

## <u> (</u>) 警告

12

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の 原因となります。

## 下図(〇)のピントが合うようにフォーカスを調整する

エアフィルターカバーを開け、フォーカスの調整を行ってください。

(A)のピントを合わせたら、(B)のピントが合っていることを確認します。(B)の中でピントが合っていない箇所があるときは、(B)のピントが均一になるようにフォーカスを調整します。



調整が終了したら、エアフィルターカバーを閉じます。

## リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、ガイド画面を消す

## 赤外線ディフレクターの貼付(EB-710UTのみ)

タッチユニットを取り付ける場合、ホワイトボードの下部にフレームやトレイなどの障害物がある と、指タッチ操作が正しく反応しないことがあります。障害物がある場合は、プロジェクターの位置 調整を行う前に赤外線ディフレクターをホワイトボードの下端に沿って貼り付けます。



Linn,

- 一度貼り付けた赤外線ディフレクターは取り外さないでください。テープの粘着力が弱くなり ます。
  - 赤外線ディフレクターの上にテープを貼ったり、物を置いたりしないでください。赤外線ディ フレクターが正しく機能しません。

## 湾曲補正

2

投写映像の形状を微調整するときは、湾曲補正を行います。

















プロジェクターの位置調整が終わっていることを確認してから、インタラクティブペンの位置合わせを行ってください。

☞「プロジェクターの位置調整」 p.51

ペン位置合わせは、[自動位置合わせ] と [手動位置合わせ] の2つの方法があります。プロジェク ターの設置後はじめてペン位置合わせをするときは、より正確に位置を合わせるために、[手動位置 合わせ] を行ってください。

[自動位置合わせ]の方法はプロジェクターの『取扱説明書』(Document CD-ROM内)をご覧ください。



本機を2台並べてインタラクティブ機能を使うときは、ペン位置合わせを行う前にマルチプロジェクションのインタラクティブ設定を行います。

☞「本機を2台並べてインタラクティブ機能を使う(EB-710UTのみ)」 p.105



3 [手動位置合わせ]を選択する

<ul> <li>映像</li> <li>(全般設定]</li> <li>自動位置合わせ</li> <li>●</li> <li>         すチュニット設置         ペンモード         PCレスインタ         ボバリング         オフ         詳細設定         節電         「マウス操作]         ペン動作モード         モード1         右クリック通知         オフ         詳細設定         初期化         初期化   &lt;</li></ul>	画質	[Easy Interactive Function] 戻る
設定     手動位置合わせ     ・       拡張設定     ・     ・       ホパリング     オフ       ボバリング     オフ       詳細設定     ・       節電     [マウス操作]       ペン動作モード     モード1       右クリック通知     オフ       詳細設定     ・	映像	「全般設定」
拡張設定     ウッチュニット設置       ベンモード     PCレスインタ       ホパリング     オフ       洋細設定     ビマウス操作]       谷動作モード     モード1       右クリック通知     オフ       詳細設定     詳細設定	設定	
ネットワーク     ボハウジック     オブ       第電     [マウス操作]       情報     イン動作モード     モード1       右クリック通知     オフ       詳細設定     詳細設定	拡張設定	$ \begin{array}{c} 0 \\ \hline 0 \\ \hline \end{array} \\ \hline \\ \\ \end{array} \\ \begin{array}{c} \gamma \\ \gamma $
節電     [マウス操作]       ペン動作モード     モード1       情報     右クリック通知       対期化     オフ	ネットワーク	ホハウノジ オノ 詳細設定
(カノ)町作モート     モート       情報     (カノリック通知       ガ期化     オフ	節電	[マウス操作]
初期化	情報	イン 1000 セート セート 1 右クリック通知 オフ 詳細歌史
	初期化	h+ 4Щ δ2 ℓ2



投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。



ドットが消えて次の位置に移動します。



41



## すべてのドットが消えるまで、手順5を繰り返す

ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。



すべてのドットが消えると、手動位置合わせが完了します。



## カバー類の取り付け

## ウォールプレートカバーを取り付ける

右側のカバーから取り付けます。







65



3 プロジェクターにケーブルカバーを取り付けて、ネジ(2本)で固定する



# <u> 注</u>意

プロジェクターのメンテナンスや修理をするときは、必ず工事専門業者がプロジェクターの取り外し と再設置を行ってください。なお、プロジェクターのメンテナンスおよび修理の方法は、プロジェク ターの『取扱説明書』を参照してください。

# ⚠ 警告

- 設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。また、定期的にネジ類の緩みがないことを 確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないと落下に よりけがや事故の原因となります。
- 本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。本製品が壊れて落下 すると大変危険です。本製品が落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

# タッチユニットの取り付け (EB-710UT のみ)

タッチユニットを取り付ける前に、以下の作業が終わっていることを確認してください。

- プロジェクターの取り付け (一 p.38)
- プロジェクターの位置調整(● p.51)
- インタラクティブペンの位置合わせ(● p.61)

タッチユニットを取り付ける位置によって、手順が異なります。

- ホワイトボードの外に取り付ける場合(タッチユニット取り付け金具を使う)(● p.68)
- ホワイトボード内に取り付ける場合(タッチユニット取り付け金具を使わない)( p.93)

# ホワイトボードの外に取り付ける場合(タッチユニット取り付け金具を使う)

#### 取り付け手順

タッチユニット取り付け金具を使用してタッチユニットをホワイトボードの外に取り付け、プロジ ェクターと接続します。

タッチユニットを取り付ける面とスクリーンが平行であることを確認してください。

## <u> î</u>注意

EB-710UT以外のプロジェクターや他の機器にタッチユニットを接続しないでください。

### プロジェクターの電源をオンにして【メニュー】ボタンを押す

#### リモコンの場合



#### 操作パネルの場合



[拡張設定] で [Easy Interactive Function] を選択する 画質 戻る Easy Interactive Function ホーム画面設定 表示設定 ユーザーロゴ 映像 設定 設置モード フロント 動作設定 A/V出力設定 拡張設定 θ NYもD3002 USB Type B マルチプロジェクション 言語 の期化 ネットワーク USB Display 節電 日本語 情報 初期化

# 3 [タッチユニット設置]を選択する



69

# 4 [設置パターン]を選択する



投写画面に設置パターンが表示されます。



ダイヤルカバーの下部にあるネジを市販のNo.2のプラスドライバーで緩める



6 ダイヤルカバーを下にスライドさせて外す



#### タッチユニット取り付け金具の取り付け位置を決める

取り付けやすいように、以下の取り付け位置(ネジ穴の位置)に印を付けることをお勧めします。 ( ① ):設置パターンの中心線です。取り付けプレートの中心線( ③ ) と合わせます。

(②):投写画面の上端(白線)から25mm~100mmの高さです。取り付けプレートの下端と 合わせます。



8 市販の直径4mm木ネジ(3本)またはM4のアンカーボルト(3本)で取り付けプレ ートを壁に取り付ける


## 9 同梱のM4 x 25mmボルト(2本)で、タッチユニットの裏面に固定用プレートを 取り付ける

タッチユニットのネジ穴(2箇所)と固定用プレートのネジ穴(2箇所)が一致するように位置を 調整します。セッティングプレートに同梱の六角レンチでボルトを締めます。



## <u> 注</u>意

10

タッチユニットの裏面には強力なマグネットが付いています。タッチユニットと固定用プレート の間に手を挟まないようにご注意ください。

同梱のM4 x 10mmボルト(2本)で、固定用プレートを取り付けプレートに取り 付ける

セッティングプレートに同梱の六角レンチでボルトを締めます。







## 12 手順11で計測した(f)に合わせて左右それぞれ高さを調整する

ネジ(2本)を緩め、タッチユニットを前後に動かして、矢印が(f)と同じ値の目盛に合うように 左右それぞれ調整します。調整が終わったら、ネジ(2本)を締めます。





# 13 同梱の六角穴付きボルトでタッチユニットと取り付けプレートを固定する

手順11で計測した壁からスクリーン表面までの距離(f)によって、使用するボルトは異なります。ボルトはセッティングプレートに同梱の六角レンチで締めます。

f=20~35mmの場合: M4 x 55mmボルト

f=35~50mmの場合: M4 x 70mmボルト



プロジェクターに接続したタッチユニット接続ケーブルを、タッチユニットのTCH 端子に接続する



#### 角度調整

14

タッチユニットから赤外線レーザーがカーテン状に照射されます。ホワイトボードに触れた指に赤 外線レーザーが反射し、反射した座標をプロジェクターの赤外線カメラが認識することで指の位置 を検出します。



プロジェクターが指の位置を正しく検出できるように、タッチユニットから照射されるレーザーの 角度を調整します。



C:上下可動点

レーザーがスクリーンに対して平行に照射されていないと、指タッチ操作に反応しなかったり、指 の位置がずれたりします。

#### 設置工事説明書



ホワイトボードの下部にフレームやトレイなどの障害物があるときは、レーザーが反射して、指の 位置が正しく検出されないことがあります。フレームやトレイの上に赤外線ディフレクターを貼る ことでレーザーを外へ逃がし、反射しないようにします。

☞「赤外線ディフレクターの貼付(EB-710UTのみ)」 p.58



- ] 本機を2台並べてインタラクティブ機能を使うときは、先にマルチプロジェクションのインタ ラクティブ設定をしてください。
  - ☞「本機を2台並べてインタラクティブ機能を使う(EB-710UTのみ)」 p.105
  - 角度を調整する前に、インタラクティブペンの位置合わせが終わっていることを確認してください。
    - ☞「ペン位置合わせ(EB-710UTのみ)」 p.61

プロジェクターの [拡張設定] メニューから [Easy Interactive Function] を選 択する



2 [タッチユニット設置]を選択する









タッチユニットの電源がオンになり、インジケーターが青色に点灯します。



[電源]を[オン]に設定すると、次回からプロジェクターの電源をオンにしたときにタッ チユニットの電源も自動的にオンになります。





#### [取り付け金具を使う]を選択する



以下の画面が表示されます。



と
セッティングプレートに同梱の六角レンチで、タッチユニットの調整ネジを時計回
りいっぱいに回す







調整ダイヤルからカチカチと音が鳴ったら回すのをやめ、リモコンの【 **↓**】ボタンを押します。 以下の画面が表示されます。

	【角庾調整】 調整前準備	
	手順: 1. マーカーをマーカー短輩位輩に置くと、ポインターが表示されます。 オーンターが表示されない場合は、表示されるまで調整ダイヤルを 回してんだい。 2. 調整ダイヤルを回して、左右両方のポインターを目標位置に合わせ ます。 両方のポインターが塗りつぶされたら、角度調整は完了です。	
	注意: ・ 観整中は投写面に手や障害物を置かないでください。 ・ 調整中はマーカーとブロジェクター間を遮らないようにしてください。	
$\bigcirc$	<ul> <li>マーカー設置位置</li> <li>○○○</li> <li>ボインター</li> <li>減整ダイヤル</li> <li>目標位置</li> </ul>	$\bigcirc$
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	Ŭ
*		$\mathbf{x}$

- 投写画面のマーカー設置位置( 🖌 )( 🔪 )に、同梱のマーカー2個を重ねて固定す 8 る ( ✓ ) ( ✓ ) の交点 ( ▲ ) にマーカーの十字位置 ( ■ ) が重なるように位置を合わせます。 А В
  - マグネットが使えるスクリーン:マーカーの底面をスクリーンに付けて固定します。
  - マグネットが使えないスクリーン:同梱のテープで固定します。マーカーの先端がスクリーンか ら浮かないように固定してください。



角度調整中は、マーカー以外のものを投写画面上に近付けないでください。投写画面上に マーカー以外のものがあると、角度調整がうまくできないことがあります。





調整ネジを時計回りに回すと、ポインターが投写画面の外側へ向かって斜め下方向に移動します。



 調整ネジを回すときは、腕や体の影がマーカーに重ならないようにしてください。
 ポインターが塗りつぶされない(〇)(〇)ときは、タッチユニットとスクリーンが 平行になっているかご確認ください。タッチユニットとスクリーンが平行になるように、 タッチユニット取り付け金具を調整してください。

## 左右のポインターが塗りつぶし状態(●)(●)になったら、リモコンの【**イ**】 ボタンを押す

以下の画面が表示されます。

10

	【角度調整】 調整約準備 平原: 1. マーカーをマーカー設置位置に置くと、ボインターが表示されます。 ポインターが表示されない場合は、表示されるまで調整ダイヤルを 回してくたない。 2. 調整ダイヤルを回して、左右両方のポインターを目標位置に合わせ ます。 両方のポインターが塗りつぶされたら、角度調整は完了です。 注意: ・調整中は投空面に手や線零物を置かないでください。	
<b>o</b>	<ul> <li>・調整中はマーカーとプロジェクター間を遮らないようにしてください。</li> <li>マーカー設置位置 調整ダイヤル</li> <li>回整ダイヤル</li> <li>日標位置</li> </ul>	0
Ĥ	〔[更ゐ]:前へ【 <b>❹]</b> :次へ	Ŕ

## 11 タッチユニットの調整ダイヤルを回して、左右のポインター(○)(○)が同じ 色の目標位置(○)(○)に重なるように動かす

調整ダイヤルを時計回りに回すと、ポインターが投写画面の中心へ向かって斜め上方向に移動しま す。



調整ダイヤルを反時計回りに回すと、ポインターが投写画面の外側へ向かって斜め下方向に移動します。





上側のポインターが塗りつぶし状態(一)(一)にならないときは、手順1からやり直してください。

〔戻る]:前へ【❹]:>

[2]

【メニュー】:終了

14 下側のマーカー設置位置[2]( 🖌 )( 🔪 )にマーカーを置く

正しく角度調整が行われているときは、下側のポインターが塗りつぶし状態())())になります。



下側のポインターが塗りつぶし状態(一)(一)にならないときは、手順4からやり直してください。

15

確認が終了したらマーカーを取り外し、リモコンの【→】ボタンを押す

以下の画面が表示されます。





付け爪やマニキュア、包帯等をしている指で操作すると、正しく動作しないことがあります。

すべてのドットが消えたら、[調整終了]を選択してリモコンの【↓】ボタンを押して、手順17 へ進んでください。

下図のように一部のドットが消えないときは、以下の点を確認してください。

F-7- (01:0 @ 01 30 @ 04010		
【用度調整】 調整削準備 手順: 1. マーカーを取り外してください。 2. 画面端に表示されているドットを、指でなぞってすべて消してくだ さい。 3. すべてのドットを消したら「調整終了」を選択してください。		
左右のドットが消えない場合: 側面に障害物があるときは、障害物を取り除いてください。 移動できない障害物があるときは、「追加調整」を選択してください。		
下のドットが消えない場合: 同梱の赤外線ディフレクターをスクリーンに貼り付けてください。		
注意: ・ リモコンの ■または ■ボタンを押すと、ドットが再び表示されます。 ・ ドットが消えない場所は、描画やマウス操作が出来ません。		
(【戻る]:前へ【◆]:選択【❹]:決定 【メニュー]:終了)		
	•	
	•	

左右のドットが消えない場合:投写画面の左右に障害物があるときは、障害物を取りのぞいてください。障害物を取りのぞいたら、リモコンの【 ( ) または【 ) ボタンを押して、手順16を 再度行います。それでもドットが消えないときや、ホワイトボードのトレイやフレームなど、移動 できない障害物があるときは、追加調整を行ってください。

☞「追加調整」 p.88

17 ダイヤルカバーを取り付けて、ダイヤルカバー下部のネジを締めて固定する



調整が終了したら指タッチ位置合わせを行います。

●「指タッチ位置合わせ」 p.90



#### 追加調整

角度調整で左右のドットが消えないときは、追加調整を行います。

スクリーンのフレームにレーザー光が当たると、スクリーン内に反射して指タッチ操作を正しく行 えないことがあります。追加調整は、レーザー光が左右のフレームに当たらないようにレーザー光 の高さを調整するための作業です。



1	[追加調整開始]	を選択する



以下の画面が表示されます。

【角度調整】 調整前準備	
手順: ・調整前に、調整ダイヤルを反時計回りいっぱいに回してください。	
準備が出来たら開始します。次に進んでください。	

以降は、角度調整の手順11以降と同じ手順で調整します。画面の指示に従って調整してください。

☞「角度調整」 p.74

調整が終了したら指タッチ位置合わせを行います。

●「指タッチ位置合わせ」 p.90

マーカーはなくさないように大切に保管してください。



初期化

## 4 [指タッチ位置合わせ]を選択する



ピント調整のメッセージが表示されます。

ピントが合っていることを確認して、[はい] を選択する



投写画面の左上にドットが表示されます。



すべてのドットが消えると、指タッチ位置合わせが完了します。

- ・押す位置を間違えたときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押してください。1つ前のドットからやり直せます。2つ以上前のドットからやり直すことはできません。
  - 指タッチ位置合わせを中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押します。
  - すべてのドットが消えてから指タッチ位置合わせが完了するまで、数秒かかることがあります。

## ホワイトボード内に取り付ける場合(タッチユニット取り付け金具を使わ ない)

#### 取り付けについて

- タッチユニットの背面にはマグネットが内蔵されています。マグネットをスクリーンに付けるだけでタッチユニットを取り付けられます。
- マグネットが使えないスクリーンには、市販のM4ネジ(3本)を使って取り付けてください。
- タッチユニットは、スクリーン表面と同じ平面に取り付けてください。

#### 取り付け手順

タッチユニットを取り付けて、プロジェクターと接続します。



2

[拡張設定] で [Easy Interactive Function] を選択する



3

## [タッチユニット設置] を選択する



## [設置パターン]を選択する



投写画面に設置パターンが表示されます。



5

ダイヤルカバーの下部にあるネジを市販のNo.2のプラスドライバーで緩める





7 タッチユニットの取り付け位置を決める

取り付けやすいように、以下の取り付け位置に印を付けることをお勧めします。

(①):設置パターンの中心線です。タッチユニットの中心線(③))と合わせます。

(②): 投写画面の上端から25~100mmの高さです。 タッチユニットの下端と合わせます。



#### タッチユニットを固定する

• マグネットが使えるスクリーン:タッチユニットの背面を設置面に貼り付けて固定します。

## <u> 注</u>意

マグネットが使える設置面にタッチユニットを取り付けるときは、マグネットと設置面の間に 指や体の一部をはさまないようご注意ください。マグネットと設置面の間には、非常に強い吸 引力が働きます。



 マグネットが使えないスクリーン:同梱のスペーサーを貼り付けてから、市販のM4ネジ(3本) で固定します。



[単位:mm]



プロジェクターに接続したタッチユニット接続ケーブルを、タッチユニットのTCH 端子に接続する



#### 角度調整

タッチユニットの角度調整を行う手順を説明します。角度調整の詳細は p.74をご覧ください。

- 本機を2台並べてインタラクティブ機能を使うときは、先にマルチプロジェクションの設定をしてください。
  - ☞「マルチプロジェクション設定」 p.101
  - 角度を調整する前に、インタラクティブペンの位置合わせが終わっていることを確認してください。
    - ☞「ペン位置合わせ(EB-710UTのみ)」 p.61

プロジェクターの [拡張設定] メニューから [Easy Interactive Function] を選 択する



[タッチユニット設置] を選択する





#### [電源] を [オン] にする



タッチユニットの電源がオンになり、インジケーターが青色に点灯します。



[電源]を[オン]に設定すると、次回からプロジェクターの電源をオンにしたときにタッ チュニットの電源も自動的にオンになります。

#### [角度調整] を選択する

4



[取り付け金具を使わない]を選択する



以下の画面が表示されます。



以降の手順は、取り付け金具を使ってホワイトボード外に取り付ける場合の角度調整(手順11以降)と同じ手順です。

☞「角度調整」 p.74



調整が終了したら指タッチ位置合わせを行います。

●「指タッチ位置合わせ」 p.90

# 本機を複数台並べて設置する(マルチプ ロジェクション)

複数台のプロジェクターを並べて設置して、1つの大きな画面を投写できます(マルチプロジェクション)。



本機を複数台並べて設置するときの流れは、以下でご確認ください。(
「設置の流れ」 p.10)

] 1台のコンピューターの画面を投写する場合、以下の準備が必要です。設定方法はお使いのコン ピューターの取扱説明書でご確認ください。

- 1台のコンピューターから、2台のプロジェクターそれぞれにケーブルを接続する(コンピュ ーター側に、映像出力端子が2つ必要です)
- 1台のコンピューターから複数の画面に映像を出力するよう設定する

## マルチプロジェクション設定

マルチプロジェクション機能を使うときは、以下の手順で設定を行います。

- 1 プロジェクターIDの設定(● p.101)
- 2 マルチプロジェクションの映像調整 ( p.104)





2 [拡張設定]で[マルチプロジェクション] を選択する



6 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押す



プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押す



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。

【ID】ボタンを押して、IDの設定を確認する



以下が表示されます。

- リモコン操作:有効と表示:現在操作中のプロジェクターでリモコン操作ができるよう設定されています。
- リモコン操作:無効と表示:リモコン操作ができないように設定されています。上記の手順を繰り返して、リモコン操作を有効にしてください。
  - ・操作対象のプロジェクターIDは、プロジェクターの電源を入れるたびに選択する必要があります。電源投入時、リモコンのID設定はOになっています。
    - [プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
    - リモコンでIDをOに選択したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。

#### 🔳 マルチプロジェクションの映像調整

- プロジェクターの位置調整が終わっていることを確認してください。
  - ☞「プロジェクターの位置調整」 p.51
- マルチプロジェクションで投写している映像のズレが気になるときは、湾曲補正をお試しください。
  - ☞「湾曲補正」 p.60

2

1 プロジェクターの電源をオンにして【メニュー】ボタンを押す





[拡張設定]で[マルチプロジェクション] を選択する

3 [マルチプロジェクション]を[オン]に設定する



【戻る】ボタンを押して、一つ前の画面に戻ります。

各設定を行う

STREE STREES

[カラーモード]	それぞれのプロジェクターで同じ項目を設定します。
[ユニフォーミティー]	画面全体の色味のバランスを調整します(必要な場合のみ)。
[明るさ設定]	光源の明るさがそれぞれのプロジェクターで異なるときに、光源の明るさを調整します。一番暗いプロジェクターを基準に調整してください。
[カニーフッチング]	今白から今里の間で哔調でとに各吐と明るさを調整します

[カラーマッチング] 全日から全黒の間で階調ごとに色味と明るさを調整します。

## 本機を2台並べてインタラクティブ機能を使う(EB-710UTのみ)

本機を2台並べてインタラクティブ機能を使うときは、マルチプロジェクションの映像調整後、以下の手順で設定を行います。設定は1台ずつ行います。2台同時に設定はできません。

プロジェクター同期設定(● p.105)

2 マルチプロジェクションのインタラクティブ設定(● p.107)

2台の映像が重なっていると、インタラクティブ機能が正しく動作しません。

## プロジェクターの同期設定を行う

マルチプロジェクションでインタラクティブ機能を使うときは、赤外線の干渉によりインタラクティブペンの動作が不安定になることがあります。インタラクティブペンの動作を安定させるために、 以下の設定を行います。設定前に、2台のプロジェクターの設置が終わっていることを確認してくだ さい。

☞「セッティングプレートの取り付け」 p.38

#### 付録

#### オプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)で各プロジェクターの 1 SYNC端子を直列に接続する

プロジェクター同士をケーブルで接続すると、インタラクティブペンの動作が安定します。 SYNC端子にはINとOUTの2種類があります。ワイヤードリモコンケーブルの一方の端子をINに 接続したときは、もう一方の端子をOUTに接続してください。



プロジェクターの電源をオンにして【メニュー】ボタンを押す



3

[拡張設定] で [Easy Interactive Function] を選択する





## ■ マルチプロジェクションのインタラクティブ設定

マルチプロジェクションのインタラクティブ設定を行う前に、マルチプロジェクションの映像調整 が終わっていることを確認してください。インタラクティブ設定後に映像調整を行うと、ペン位置 がずれることがあります。

☞「マルチプロジェクションの映像調整」 p.104

タッチユニットを使用する場合と使用しない場合で、設定の手順が異なります。
#### タッチユニットを使用しない場合







3

[拡張設定] で [Easy Interactive Function] を選択する



4

[全般設定] の [詳細設定] を選択する



#### [マルチプロジェクション] を選択する 5





6

7



ペン位置合わせを行う ( - p.61)

#### 左側のプロジェクターの電源をオフにする 8

右側のプロジェクターの電源をオンにして、手順2~5に沿って操作する 9



11 ペン位置合わせを行う (er p.61)

タッチユニットを使用する場合(EB-710UTのみ)

を側のプロジェクターの電源をオンにして、右側のプロジェクターの電源をオフに する







画質	【全般設定】	展る
映像	[詳細設定]	- Ind
設定	復数台設置距離 後数台同期	
拡張設定 🔮	イルチプロジェクジョン (有線接続同期モード	
ネットワーク	<ul> <li>ノリビットヘンへる</li> <li>消しゴム大きさ</li> <li>カラーパレット</li> </ul>	□宗辛 標準 □ペレッット <b>1</b>
節電		1
情報	ペンボタン動作	」 消しゴム アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
初期化	画面クリア確認	77



#### 付録



1台ずつ、指タッチ位置合わせを行う (☞ p.90)

## ○ 一括設定機能

1台のプロジェクターで設定したプロジェクターメニューの内容を、他の複数のプロジェクターにー 括で設定できます(一括設定機能)。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。 以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する。
- EasyMP Network Updaterを経由して設定する。

本書では、USBメモリーを使う方法とUSBケーブルを使う方法を説明します。

- ・以下の内容は一括設定機能では反映されません。 ネットワークメニューの設定(通知メニュー、その他メニューを除く)
   ・プロジェクターの位置調整を行う前に一括設定を行ってください。一括設定機能では、台形補正などの投写画面の調整値も反映されます。プロジェクターの位置調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
  - 一括設定機能を使うと、登録してあるユーザーロゴも他のプロジェクターに反映されます。機 密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。

🕂 注意

ー括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

2

### USBメモリーを使って設定する

USBメモリーを使って一括設定を行う方法を説明します。

- • FAT 形式でフォーマットしたUSBメモリーを使用してください。
  - 」●セキュリティー機能が付いているUSBメモリーでは、一括設定機能が利用できません。セキュリティー機能の付いていないUSBメモリーをお使いください。
    - USBカードリーダーやUSBハードディスクでは、一括設定機能は利用できません。

### 設定値をUSBメモリーに保存する

# 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

#### USBメモリーをプロジェクターのUSB-A端子に接続する

] • USB メモリーは、プロジェクターに直接接続してください。USB ハブを介してUSB メモリーを接続すると、設定値の保存が正常に行われないことがあります。

• 空のUSBメモリーを接続してください。一括設定ファイル以外のデータが入っている と、設定値が正しく保存できないことがあります。

 
 ・一括設定したファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更する ときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変 更すると、プロジェクターが正しく認識できないことがあります。

• 2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

### 3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源 コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。



すべてのインジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルの書き込みが始まります。



書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青 色に点灯します。



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

2

3

#### 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

ー括設定ファイルを保存したUSBメモリーを、プロジェクターのUSB-A端子に接続する

USBメモリーには一括設定ファイル以外のデータを入れないでください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく反映できないことがあります。

リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに 電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。インジケーターは約75秒点灯します。



すべてのインジケーターが点滅に変わると、設定値の書き込みが始まります。



リーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青 色に点灯します。



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

E.

4

## コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する

一括設定機能の対応OSは以下のとおりです。

- Windows Vista以降
- Mac OS X 10.5.3以降

### 設定値をコンピューターに保存する

- プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する
- 2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B 端子をUSB ケーブルで接続する
- 3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源 コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジ ケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。



コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイル(PJCONFDATA.bin)をコンピューターに保存する

一括設定ファイルのファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列
 を追加してください。他のファイル名に変更すると、正しく認識できないことがあります。2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。



Ō 電源 ステータス

レ

.++"-

温度

Ċ



### | 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する





すべてのインジケーターが点滅すると、設定値の書き込みが始まります。

## <u> 注</u>意

設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青 色に点灯します。



## 設定がうまくいかないときは

確認	対処法
レーザーインジケーター、温度インジ ケーターが、橙色に速く点滅していま せんか?	ー括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSB ケーブルが正しく接続できていない可能性があります。USB メモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロジェクターの 電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
<ul> <li>○ □ ★ ■</li> <li>電源 ステータス レーザー 温度</li> </ul>	
電源インジケーターとステータスイン ジケーターが青色に、レーザーインジ ケーターと温度インジケーターが橙色 に、それぞれ速く点滅していません か?	設定値の書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウ ェアに異常が生じた可能性があります。ご使用をやめ、電源 プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお 問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。
<b>;</b> ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ;	
<ul> <li></li></ul>	

# 🖸 セキュリティーケーブルの取り付け

本製品には、市販の盗難防止用ワイヤーロックを取り付けられます。

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーをプロジェクターとセッティングプレートのセキュリティー ケーブル取り付け部に通します。ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明 書をご覧ください。



本製品は、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティ ースロットを搭載しています。マイクロセーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下 をご覧ください。

R

 $\bigcirc$ 

http://www.kensington.com/

プロジェクター





## ◯ 商標について

Mac、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または 登録商標です。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2017. All rights reserved.